

高校教育指導課通信 VOL.14

「高校教育指導課通信」では、各学校の工夫した取組等について情報提供します。第14号は海田高等学校です。

令和2年6月23日(火)

海田高等学校 <http://www.kaita-h.hiroshima-c.ed.jp/>

主体的な学びを促す授業づくり

—ICTの有効な活用場面を考えることを通して—

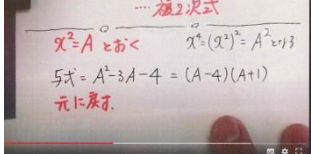
単元を見通した授業改善

ICTの有効な授業への活用を考えていくため、全体研修を実施しました。

- ・携帯を持参してもらい、具体的な操作をその場で行いながら、学び合う場を設けました。
- ・具体的な動画作成方法について、説明を行いました。
- ・動画の内容は3種類の例を示し、取り組み易い方法を考えてもらいました。

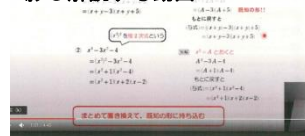
【例1】

手元のプリントを映し解説する動画



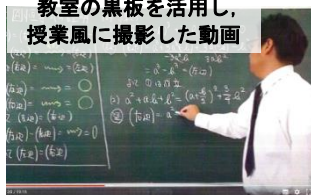
【例2】

パワーポイントの録画機能を活用し、教師とプリントを投影し解説する動画



【例3】

教室の黒板を活用し、授業風に撮影した動画

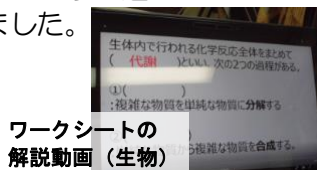


担当の先生より

- 教科の特質や取り上げる単元などによって、動画の内容も異なると思います。
- 例を示して、先生方が扱うのにふさわしいタイプを考えてもらうことで、多くの先生方が動画作成に取り組んでくださいました。

○動画作成は単元構成に基づいて行いました。

- ・ワークシート、解説動画、単元目標の達成を図るテストを一体的に作成することで、指導と評価の一体化を意識した授業づくりを進めることができました。



ワークシートの解説動画(生物)

生徒の学習の流れ

ワークシート



解説動画

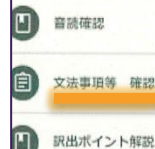


チャレンジテスト

○formsを活用してアンケートによる解答分析を行いました。

- ・誤答の傾向から生徒達の学力の定着状況を把握することができました。学校再開後はアンケート分析結果等を用いてシラバスや単元計画の見直しを行います。

『莊子』(秋水)



『莊子』文法事項等 確認問題

白文での出題です。ちょっと難易度高いですががんばって。入力された解答から、誤答が多いものや気になる点について解説をしますので、必ず入力してください。模範解答も、解答送信後には出ません。アンケートフォームのページ

授業改善を核とした校内体制づくり

—年間指導計画の見直しを通して—

各教科によるシラバスの実施状況確認

○教科会、校務運営会議等で今後の見直しを確認しています。

校長先生より

- 休業中の各教科からの学習課題は、「主たる教材」を用いてシラバスに基づいて作成しました。学習課題のどの内容がシラバスのどの部分にあたるのかを全教科で確認を行いました。
- 校務運営会議では、夏季休業日の設定を踏まえて、学校の年間行事計画を見直すとともに、各教科のシラバスの見直しが必要かどうかを確認しました。その上で、「海田高校学びの変革構想案」に基づき、授業改善を組織的に進めています。

